

「PFAS とは何？ 何が問題なのか？」

講師：原田 浩二さん（京都大学医学研究科 社会健康医学系専攻准教授）

日時：2023年7月15日（土） 15:00～16:30

場所：オンライン開催（Zoom、URLは下記）

最近PFAS（有機フッ素化合物）汚染が話題になり始めました。PFASは撥水剤や泡消火剤などに使われていました。それが土、水、空気を経由して生物に取り込まれています。人間に関しては、魚介類や水道水からの摂取です。その毒性は、脂質の代謝異常や免疫に影響すると言われています。

つぎつぎと、便利がいいとして使われている物の弊害が明らかになってきます。目先の便利と長期的な弊害を天秤にかけるのは難しいです。弊害を発売前に十分検討する体制を作り、弊害が現れたら即座に対策すべきであるが、それがなされない社会システムが問題でもあります。



講演要旨： PFASは有機フッ素化合物のうち、特に難分解性の性質を持つものを含んでいます。身の回りの製品から、産業用途まで幅広く使用されています。その問題が世に知られてから20年ほどですが、この数年で日本でも大きな話題となっております。一方で米国、欧州ではこの問題は以前から指摘され、行政の対応も進んできました。日本でもようやく取り組みが始まりましたが、まだ見通しがはっきりしていません。そのなかで、地下水などのPFAS汚染が各地で発覚してきています。

今回、日本での環境中のPFAS汚染の状況、日常での摂取、考えられる健康への影響、現在の日本での議論と海外での状況との違いなどについて話題を提供します。

原田浩二さんの略歴： 京都大学薬学部卒。京都大学大学院医学研究科修了。京都大学医学部助教、講師を経て准教授。その間、ソウル国立大学、四川大学で客員教員。

ZOOMのURL

<https://us02web.zoom.us/j/83483706537?pwd=T09qbH1Ua3JmaWxQVXFJajVJQnFCUT09>

パスコード：546915、 ミーティングID：834 8370 6537

参加登録：不要。非会員の方は松久（h.matsuhisa@shukusho.org）まで連絡願います。参加費は無料